



JR連合「安全シンポジウム」開催！ すべてのJR職場の安全確立にむけて！

10月16日、香川県高松市・香川県県民ホール（レクザムホール）においてJR連合「第11回安全シンポジウム」が開催された。同シンポジウムはJR西日本・福知山線列車脱線事故以降の取り組みの一つであり、各業種の取り組みを学ぶとともに、JR連合各単組の具体的な安全の取り組みを積み上げ、その成果と今後の取り組みを方向づける場として開催されている。イーストユニオンからは、添田寿男中央執行副委員長と、同シンポジウムのスタッフとして五十嵐優一中央執行委員が出席した。



基調講演では、中災防中四国サービスセンター・山岡所長、四国旅客鉄道(株)安全推進室・岡本室長の2名より講義を頂いた。山岡所長からは「『安全旗』と『労働衛生旗』は当初別々のものだったが、安全と衛生は密接な関係にあるものとの考えが強調され、一体のものとして推進するシンボルマークとして『安全衛生旗』が制定された」などの説明を頂いた。

エリア連合からの取組報告に引き続き、パネルディスカッションでは、テーマ「安全で安心して働くことのできる職場づくりに向けて」と題し、中災防・電力総連・JR四国ホテルズ・NESCO労組のパネラーの皆さまから忌憚のないご意見を頂いた。電力総連・山本次長からは「『重大事故再発防止閲覧システム』を導入し、2005年以降の重大災害および再発防止対策について様々な条件設定により抽出し閲覧、印刷ができるシステムを運用している」などの報告があった。



終わりに、JR連合・中村交通政策部長より、福知山線列車事故以降のJR連合の各種取り組みについての紹介、「民主的な労働組合による健全な集团的労使関係が、JR産業の持続的な発展につながっていく」との提起があり、JR産業で働くすべての仲間がJR連合へ総結集することを強く訴え、同シンポジウムは閉会した。

私たちは、すべてのJR関係労働者の幸せの実現にむけて
着実に行動していきます！